

平成 26 年度大阪管区気象台中国地区気象研究会 } プログラム
 2014 年度日本気象学会関西支部 第 3 回例会 }

開催日時 : 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 11 時 00 分～17 時 35 分

開催場所 : 広島合同庁舎 4 号館 14 階 広島地方気象台 防災連絡室
 (広島市中区上八丁堀 6-30)

11 : 00～11 : 05 開会挨拶 三角 幸夫 広島地方気象台長、気象学会中国理事

11 : 05～11 : 10 臨席官挨拶 見定 吉信 大阪管区気象台防災調査課長

11 : 10～11 : 15 説明事項 平井 勢津雄 広島地方気象台防災業務課水害対策気象官
 発表 1 題 20 分 (発表 15 分+質疑 5 分)、*は発表者

座長 : 谷永 守 広島地方気象台防災業務課長

11 : 15～11 : 35 (1) 集中豪雨・大雨発生の条件

*小林 祥悟・岡垣 和憲・北井 英吉・末永 和貴・胡 未知人 (岡山地方気象台)

11 : 35～11 : 55 (2) 集中豪雨・大雨発生の必要条件の妥当性の確認と十分条件の抽出 (2014 年 8 月 19 日～20 日の豪雨事例)

*岩田 奉文・風早 範彦・仲田 直樹・濱岡 昭之・大谷 修一・川北 昇司
 立神 達朗 (広島地方気象台)

11 : 55～13 : 00 休憩

13 : 00～13 : 20 (3) 島根県での集中豪雨・大雨発生の必要条件の見直しと十分条件の抽出

*北山 拓・前田 潔・石原 昭史・足立 誠・宮本 達也・小島 至 (松江地方気象台)

13 : 20～13 : 40 (4) 集中豪雨・大雨をもたらす降水系の発生条件について

*向井 直人・濱田 浩一・米井 達也・仲里 正 (鳥取地方気象台)

13 : 40～14 : 00 (5) 初秋頃、沿岸に発生するライン状のエコーについて

*米井 達也・伊藤 嘉記 (鳥取地方気象台)

14 : 00～14 : 20 (6) 山陽北部の熱雷による大雨予測

*風早 範彦・石本 歩・大谷 修一・木戸 延明 (広島地方気象台)

14 : 20～14 : 40 (7) 2014 年 2 月 8 日の南岸低気圧による大雪について

*岡垣 和憲 (岡山地方気象台)

14 : 40～14 : 50 指導官講評 (中国地区気象研究会) 三角 幸夫 広島地方気象台長

14 : 50～15 : 00 休憩

座長 : 岩田 徹 岡山大学准教授、気象学会中国理事

15 : 00～15 : 20 (8) 京都府におけるオキシダントと PM2.5 の季節変動特性について

*岩谷 融 (岡山大学環境理工学部)・中矢 皓大・岩田 徹 (岡山大学大学院環境生命科学研究科)

- 15 : 20～15 : 40 (9) 岡山県における光化学オキシダントと PM2.5 の変動特性
*立野 雄介 (岡山大学環境理工学部)・中矢 皓大・岩田 徹 (岡山大学大学院
環境生命科学研究科)
- 15 : 40～16 : 00 (10) 東シナ海沿岸における顕著な潮位福振動発生前の海上気象場に関する現地
観測
*田中 健路・橋本 賢太郎・原 大祐・打越 智大・大幡 由季・小野 雄樹
高野 将大・福井 惇司・堀田 直樹・宮庄 愛香・三宅 正展・吉岡 隼也
(広島工業大学環境学部)
- 16 : 00～16 : 20 (11) 国土交通省 X-BAND MP レーダーで観測された線状降水系に関する一考察
～2014 年 8 月豪雨の事例解析～
*田中 健路 (広島工業大学環境学部)
- 16 : 20～16 : 30 休憩
- 16 : 30～17 : 30 **特別講演**
「風を測る」 塚本 修 (岡山大学大学院自然科学研究科教授)
- 17 : 30～17 : 35 閉会挨拶 岩田 徹 岡山大学准教授、気象学会中国理事